

# 事務事業評価資料

施策名		観光ツーリズムの推進		所管部局課名	産業労働部観光・国際局観光交流課			
事業名		神戸ルミナリエ開催事業		担当者電話番号	企画調整係 078-362-3697			
事業目的		阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と都市の復興・再生を託し、人々に希望と勇気をもたらすイメージシンボルとして神戸ルミナリエを開催する。						
事業内容		神戸ルミナリエの開催(組織委員会への開催費補助(定額))			事業開始年度	平成9年度		
事業に要するコスト	区分	平成20年度決算額		平成21年度当初予算額		平成22年度当初予算額		
	事業費	(0千円) 25,000千円		(0千円) 25,000千円		(0千円) 25,000千円		
	人件費	1,694千円	従事人員 0.2人	1,672千円	従事人員 0.2人	1,641千円	従事人員 0.2人	
	総コスト(+)	26,694千円	従事人員 0.2人	26,672千円	従事人員 0.2人	26,641千円	従事人員 0.2人	
事業の目標		来場者数の維持			[目標設定理由] ・神戸ルミナリエは、震災の歩みを振り返りながら、その経験を風化させることなく、誰もの心にとどめ確かめていくメモリアルなイベントとして開催しており、被災者のみならず多くの方にメッセージを発信するため、来場者数の確保を目標とする。 ・目標値は、ひょうごツーリズムビジョン後期行動プログラムにそって、H20に400万人を目指したが、今後も維持していく。			
目標の達成度を示す指標		指標名	目 標	20年度実績	21年度見込み	22年度目標	達成率(%)	
			目標値	年度			H20 H21 H22	
		来場者数(千人)	4,000	H20年度	3,755 (7千円)	3,650 (7千円)	4,000 (7千円)	93.9% 91.3% 100.0%
評価結果	必要性	・神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と都市の復興・再生を託して開催され、人々に希望と勇気をもたらすイメージシンボリックな役割を担っているため、継続開催の必要がある。						
	有効性	・来場者は毎年度概ね目標値に達しており、着実に成果があがっている。						
	効率性	・指標1単位あたりのコストは、同額を維持しており、効率的な執行を行っている。 ・なお、ルミナリエ組織委員会に補助することで、例年400万人前後の来場者と大きな経済効果が得られ効果的な事業といえる。						
	民間・市町との役割分担	・事務局を(財)神戸国際観光コンベンション協会、協賛金の依頼を神戸商工会議所が主に担当する等の役割分担をしており、民間と一体となった取り組みを図っている。						
	受益と負担の適正化	・公道及び公園で実施しているので、来場者からの入場料徴収は出来ないため、来場者からは募金を募るとともに地元企業からは協賛金を求めている。						
実施方針	方向性	新規	拡充		継続	実施手法の見直し		
		廃止	縮小	統合	凍結(休止)	延長	終期設定	
	実施手法の見直し内容	市町移譲	民間移譲	民間委託	PFI	負担割合変更	事務改善	その他
説明	神戸ルミナリエは、阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂と都市の復興・再生を託すイベントであり、加えて400万人前後を集客するツーリズム振興上にも非常に有効な事業であることから、継続して実施する。							